

### 1 「予防接種について」発表者：高橋（花）

・予防接種を任意にしてしまったりかえってやめてしまう母親、ちゃんとやる母親、情報提供だけでなく、どういった対応・判断が求められるか？

→予防接種を受けることの+の面だけの説明に偏ってしまっていた、というのがある。マイナスの面がいきわたらなければ、だめ。不足している。時間がない。情報がないままに受けて、よくわからない状態で副反応が起きた、というのが多い。妊娠期間の早い時期から情報提供。

・オランダ人とワクチン接種の話。

日本では義務接種が多い。オランダでは予防接種は日本のように国で絶対と決められてはいない。ネットを見て、自己判断して決めていく。ヨーロッパのリテラシーの高さ。日本ではなかなかそこまでは難しい現状だろう、という感想。→日本では過密なスケジュールをこなす、という感じ。疑問に思うことも多いだろう。

#### ○ディスカッション

- ・オランダは特殊中の特殊。ほかの先進国は義務化。
- ・日本は任意なのに説明が足りない。リテラシーが足りないのに。決められないのに。
- ・任意にするなら情報提供して納得して決めるべき。国が責任回避。デシジョンエイド開発が必要だろう。
- ・反対している宗教団体の意見を聞いて接種しない人もいる。

### 2 「私の住むコミュニティの健康チェック」 発表者：藤田

- ・マンションの自治会の活動を通して、コミュニティと健康の関係に関心
- ・健康チェックリスト（国交省作成）で、自分の住んでいる土地のランキング・スコアが出る

#### ○ディスカッション

- ・地域福祉保健計画で、住民をはじめ、様々な関係機関・団体と連携し、住みやすい福祉保健のまちづくりを実施している。ただ、発表者である一住民が、健康にかかわる行政の活動を知りにくい？のは、行政としての課題。
- ・健康チェックリストの、エビデンスはどうか？項目は幅広い。健康の社会的決定要因関連の項目も入っている。
- ・行政職員でも知らない人あり。普及の必要性あり？

### 3 「レーシックについて」 発表者：浅川

- ・検索すると膨大な情報量。
- ・安全性、危険性についても賛否両論。著名人を活用し、安全性を訴えることも。

#### ○ディスカッション

- ・レーシックを受けるか、否か。リスクの考え方、本人が何に価値を置くか、費用面等
- ・医療者の本音：眼科医調査（？） 賛成 36% 反対：33% わからない：26%
- ・decision aid の観点：メリット、デメリット等も含めて、一覽で閲覽できるもの等が必要

### 4 「看護の質を測る」発表者：小布施

- ・何を持って、看護の質を測る？→様々。紹介。評価指標は公表されていないものも多い。

#### ○ディスカッション

- ・看護 **QI** の普及は？→医療としての **QI** を出し始めた段階。まだ、看護にはいきついていない。
- ・誰のための **QI** か考える必要あり。
- ・**QI** 研究会は昔からやっている。患者のアウトカムもとっている。アウトカムに影響している因子について、もっと研究しなければならない。

### 5 「まつげエクステによる健康被害とリテラシー」発表者：橋本

- ・まつげエクステのメリットとデメリットについて

#### ○ディスカッション

- ・被害経験あり（まつ毛がなくなる）。まつ毛を生やす薬をつけたら、腫れた。一步踏み入れると、次次に被害を受けることあり。
- ・デメリットな情報を知っても、メリットが上回る人もいる。
- ・公的な情報として、「行政」と検索ワードに入れたがなぜか？→消費者の目線を意識した。go.jp と入れても公的なものがヒットする。
- ・海外はどうなっているか？英語で検索すると、上位に公的な情報が来ることもある。

### 6 「訪問看護師の立場からできる情報発信」発表者：上田

- ・ホームページはあるが、どのように発信したらいいか？
- ・世間一般の人に対して、制度、訪問看護師、自宅でできる介護の工夫等を発信したい。
- ・病院看護師、看護師を目指す人に対して、役割を知ってもらいたい
- ・訪問看護師どうしの情報共有等を促したい。

#### ○ディスカッション

- ・訪問看護を利用する人は、要介護認定の人の6%（出典？）、もっと活用されてもいいのでは。
- ・訪問看護師に対しての発信をしたらいいのではないか？
- ・患者は情報を欲しがっている。ネットを使う人もいるが、使えない人もいる。
- ・インターネットを使いこなせる息子・娘世代
- ・アフィリエイトを考えても、SNSは有用。ブログも発信力あり。不特定多数は、ツイッター。

### 7 「メディアと健康～自殺対策～」発表者：江口

- ・自殺に関するメディアの影響力
- ・メディア関係者のための手引き
- ・メディアの効果を、自殺予防への利点として、もっと活用すべき

#### ○ディスカッション

- ・人身事故で足止めを受けた車両に乗った体験あり。その時、事故について長時間検索。野次馬情報も多い中、自殺対策のコメントもあった。医療者として、発信することは大切。
- ・自殺報道について、日本は国際的に、非常識。国際的には、自殺報道について詳細に報道しない。
- ・フェイスブック、自殺対策している。googleでも、検索すると、対策関連の広告が出る。つながりが大切。
- ・紙媒体でも、何でも、メディアに対する規制・取り組みをしていくべき。